

補助事業番号 21-46

補助事業名 平成 21 年度 機械工業の経営及び関連する経済に関する調査等補助事業

補助事業者名 財団法人 機械振興協会 経済研究所

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

わが国機械情報産業は、人口減少社会、グローバル化、モノづくり人材、中小企業の活性化、環境問題等、様々な問題に直面している。そこで、本年度は、我が国機械情報産業の構造革新を推進するため「グローバル・イノベーション期における地域間・企業間連携による日本のモノづくり戦略」に焦点を当て、事業に取り組んだ。

(2) 実施内容

①機械情報産業における地域経済及び産業集積の活性化に関する調査研究

[「国内産業集積の潜在力を活かしたグローバル・リンケージの可能性」](#)

[「大規模工場誘致が地域経済及び産業に与える影響に関する調査研究」](#)

[「自動車産業参入のための基盤技術系中小企業経営人材育成に関する調査研究」](#)

[「我が国製造業の国際競争力強化のための材料産業のあるべき姿」](#)

②機械情報産業における日本企業の多様なグローバル展開等に関する調査研究

[「中東地域における日本企業のグローバル展開の可能性」](#)

[「中東市場に向けた外資系企業のグローバルSCM構築に関する調査研究」](#)

[「東アジア機械関連統計の特性整理ならびにNAFTA, EU統計との比較」](#)

[「エンジニアリング産業の中国進出における日台企業連携の有効性に関する調査研究」](#)

③機械情報産業の基盤技術強化に向けた R&D 及び人材育成等に関する調査研究

[「自動車部品取引構造の変化と自動車部品メーカーの対応」](#)

[「コア技術を軸にした中小モノづくり企業の新事業展開に関する調査研究」](#)

[「機械情報産業における多様な研究開発人材の確保に関する調査研究」](#)

[「クリーンエネルギー変換技術としての圧縮空気技術の課題と展望調査」](#)

[「データセンター等 IT 基盤の省電力化・環境影響に関する調査分析」](#)

④機械情報産業の環境・資源・エネルギー等の低炭素社会対応に関する調査研究

[「エコデバイス/製造装置・材料/公的セクタの協力による対内外取組」](#)

[「環境関連デバイス応用をめぐるクラスター間広域連携調査」](#)

[「世界的な資源環境の変化に対応可能なリサイクルシステムの構築」](#)

⑤機械情報産業に係る中小企業及びベンチャー企業の競争力強化に関する調査研究

[「国内裾野産業における構造変化に対応した中小企業の人材戦略」](#)

[「EU機械産業の現状と中小企業政策の国際比較に関する調査研究」](#)

[「中小企業モノづくりの生産性向上に貢献する企業内・企業間連携手法」](#)

⑥成果の普及事業等

各プロジェクトの円滑な進捗を図るため、プロジェクトの調整・管理を中心に事業全体の取りまとめを行った。また、研究成果の評価業務として、有識者からなる評価委員会を開催するとともに、成果としての各調査研究プロジェクトの報告書等の印刷・配布等を行い、さらに、成果を普及するための講演会、報告会等を開催した

⑦図書館機能の多様化に向けての情報システム整備

2年前よりweb上での図書館所蔵資料の書誌データベース提供を行っているが、その利用拡大に伴い最新受入資料だけではなく、過去にさかのぼる資料検索への対応が求められているため、過去の書誌情報の充実にも努めた。また電子媒体の資料が増える一方で、従来の冊子体の資料での入手可能であるという資料も相当数存在する。こうした非電子媒体の資料についても、積極的に収集を進めた。また(財)JKAより、平成13年、14年度の成果報告書の寄贈を受け、技術組合医療福祉機器研究所からも多数の報告書を譲り受けたこともあり、団体報告書のコレクションの充実を図ることができた。[機械工業図書館](#)

2. 予想される事業実施効果

本年度は、我が国機械情報産業の「グローバル・イノベーション期における地域間・企業間連携による日本のモノづくり戦略」に焦点をあて、幅広い観点から機械産業の現状、課題、施策等を調査し、その成果を取りまとめた各報告書及び他の資料等は、機械業界、関連業界などに対する有用な経営等の基礎資料として活用されている。また、これらの成果は、今後の研究内容の向上と時宜に応じたテーマを設定するために評価委員会で内容等を審議し、成果の評価を行った。

さらに、調査研究成果を直接一般に公表する「[機械情報産業講演会（熊本市/平成21年11月13日開催）](#)」及び「[機械情報産業研究報告会（東京/平成22年3月29日開催）](#)」では、研究成果をベースとして、最近の経済・社会情勢や地域開発と企業経営問題を報告したことから、多数の参加者を得、それぞれ活発な質疑がなされた。調査研究成果を含む研究所全体の事業成果は業界発展に有用な情報として[ホームページ](#)で公表するなど、様々な形態で広範囲に成果の普及を行い、今後、その活用が期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物

報告書・資料名

[「国内産業集積の潜在力を活かしたグローバル・リンケージの可能性](#)

[— 地域の企業・自治体・大学等の多様な取り](#)

[組み](#)

[「新興国市場としての中東地域における日系企業の現状と展望」](#)

[「次世代自動車及ぼす自動車産業の構造変化とモノづくり企業の発展戦略」](#)

[「先端デバイス国内立地必要論とそのための確保論 — エコデバイス事例」](#)

[「国内素形材産業における受注拡大と市場開拓人材](#)

[— 鋳造・金型・表面処理など素形材企業の受注拡大に必要とされる人材とは？」](#)

[「大規模工場誘致が地域経済及び産業に与える影響— 企業、自治体、住民・学生の視点に基づく多角的分析」](#)

[「自動車産業参入のための基盤技術系中小企業経営人材育成」](#)

[「我が国製造業の国際競争力強化のための材料産業のあるべき姿」](#)

[「中東地域におけるモノづくり産業の発展可能性と日系企業の役割」](#)

[「東アジア機械関連統計の特性整理ならびにNAFT, EU統計との比較」](#)

[「エンジニアリング産業の中国進出における日台企業連携の有効性」](#)

[「コア技術を軸にした中小モノづくり企業の新事業展開」](#)

[「モノづくり企業における外国人研究開発者の戦略的活用」](#)

[「クリーンエネルギー変換技術としての圧縮空気技術の課題と展望調査」](#)

[「データセンター等IT基盤の省電力化・環境影響」](#)

[「環境関連デバイス応用をめぐるクラスター間広域連携](#)

[— 有機系太陽電池・有機EL・QoLセンサー応用のプロジェクト提](#)

[案」](#)

[「世界的な資源環境の変化に対応可能なリサイクルシステムの構築」](#)

[「EU機械産業の現状と中小企業政策の国際比較に関する調査研究」](#)

[「中小企業モノづくりの生産性向上に貢献する企業内・企業間データ連携手法」](#)

[「調査研究評価委員会資料（平成21年度）」](#)

[「講演会テキスト・パンフレット（熊本県熊本市）」](#)

[「報告会テキスト・パンフレット（東京都港区）」](#)

[「機械経済研究 No.41」](#)

[「Engineering Industries of Japan No.44（英文機関誌）」](#)

[「平成21年度 機械工業経済研究報告書要約集」](#)

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 機械振興協会 経済研究所

(キカイシンコウキョウカイ ケイザイケンキュウシヨ)

住所： 105-0011

東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 6 号

代表者： 会長 庄山 悦彦（ショウヤマ エツヒコ）
担当部署： 企画管理室
担当者名： 企画管理担当室長 宮本 光一郎（ミヤモト コウイチロウ）
企画管理室 吉村 泰子（ヨシムラ ヤスコ）
電話番号： 03-3434-8251
FAX 番号： 03-3434-3696
E-mail： yosimura@eri.jspmi.or.jp
URL： <http://www.eri.jspmi.or.jp>